

# CITIZEN®

## 電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

### ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して、日付と時刻を自動修正します。
- 毎正時または設定した時刻に報時します。

### もくじ

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください.....	1
お手入れについて.....	1
電池・時計の廃棄について.....	1
電波時計について.....	2
■電波時計とは	
■標準電波とは	
■標準電波の受信範囲について	
■電波を受信しにくい環境	
◎標準電波の送信停止について	
◎海外でのご使用について	
各部の名称と役割.....	3
ご使用方法 電波を受信して日付と時刻を合わせる.....	4
標準電波-受信の流れ.....	4
報時機能を使う.....	5
液晶表示について.....	6
明暗センサーのはたらき.....	6
時計の掛けかた.....	6
標準電波を受信できない場合.....	7
手動での日時合わせ 電波が受信できないときや任意の日付・時刻に合わせる時.....	7
電波受信機能のON/OFFについて.....	7
電池の交換時期お知らせ機能について.....	8
■電池の種類について	
■電池の寿命について	
温度、湿度表示について.....	9
おもな製品仕様.....	10
アフターサービスについて.....	裏表紙
■お問い合わせ先	

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
<http://www.rhythm.co.jp>

# 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

この注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

## 図記号の説明

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

①は、指示する行為を必ずすることを示しています。

**警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池に充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れてたりしない。



電池からもれた液にふれない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- もれた液に直接触れないでください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

**注意** 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容



浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびの発生や故障の原因になります。



分解したり改造しない  
けがや故障の原因になります。

分解禁止



強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

禁止



下記のような場所では使わない。  
品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

禁止

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が $-10^{\circ}\text{C}$ 以下または $+50^{\circ}\text{C}$ 以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ガスの発生する所。(プール、温泉場など)
- 多くの油を使用する所。(調理場など)
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

## お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。



## 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池を分別して廃棄してください。

# 電波時計について

## ■ 電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

## ■ 標準電波とは

標準電波 (JJY) は、日本標準時 (JST) をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

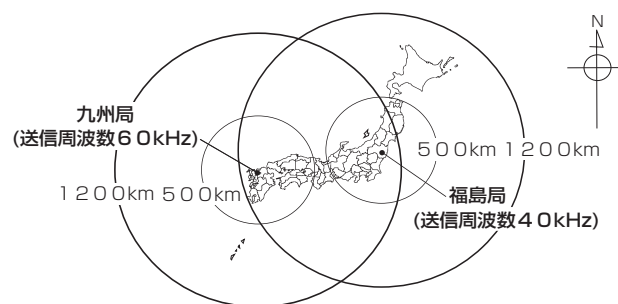
※標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と「九州局:はがね山標準電波送信所」の 2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jy.nict.go.jp)

## ■ 標準電波の受信範囲について

送信所から約 1200km 離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害 (太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯 (昼/夜) あるいは地形や建物の影響など) により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

## ■ 標準電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

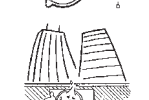
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



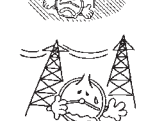
- 金属製の雨戸やブラインドの近く



- ビルの地下および地下街



- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



- 朝夕の時間帯、雨天のとき



- 家電製品や OA 機器の近く



- スチール机等の金属製家具の上や近く



- 窓のないデパートのフロア

- 大規模オフィスの窓から遠く離れた所

- 家電量販店などノイズが多い所

## ◎ 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

## ◎ 海外でのご使用について

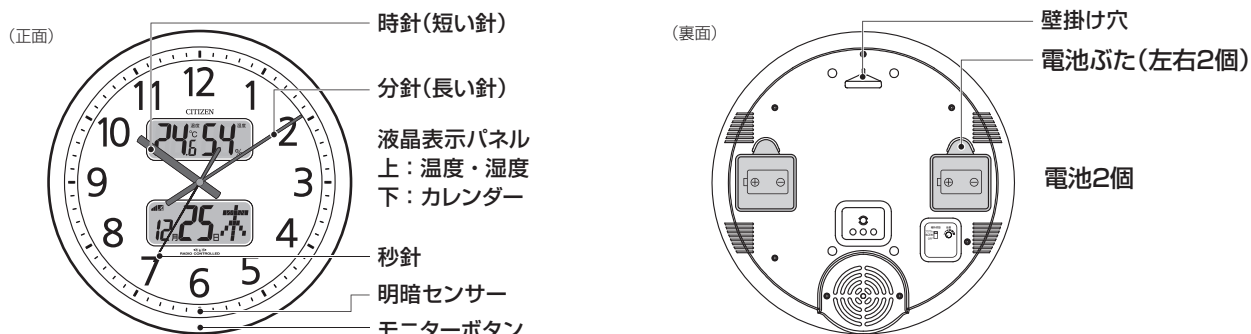
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手で日付と時刻を合わせてお使いください。

# 各部の名称と役割

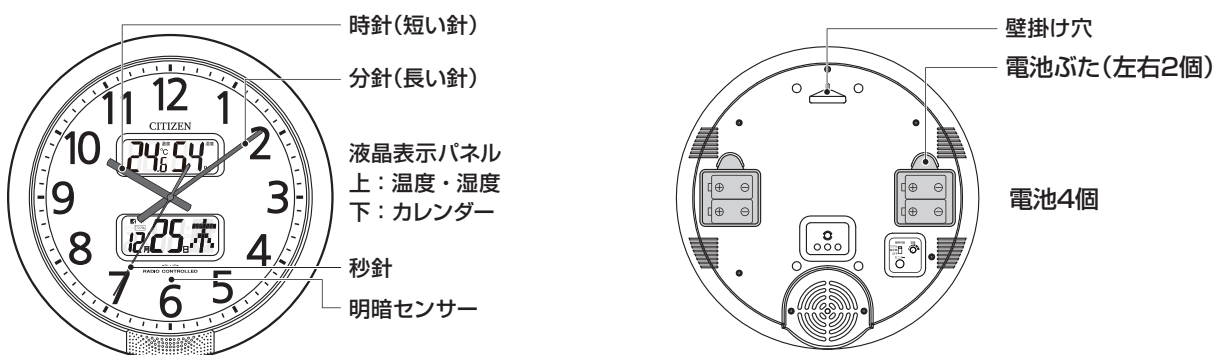
この取扱説明書は、3つの機種に対応しています。

機能が異なる場合は、対象となる型番を記載しております。説明用の図は、代表的な型番を使用しています。

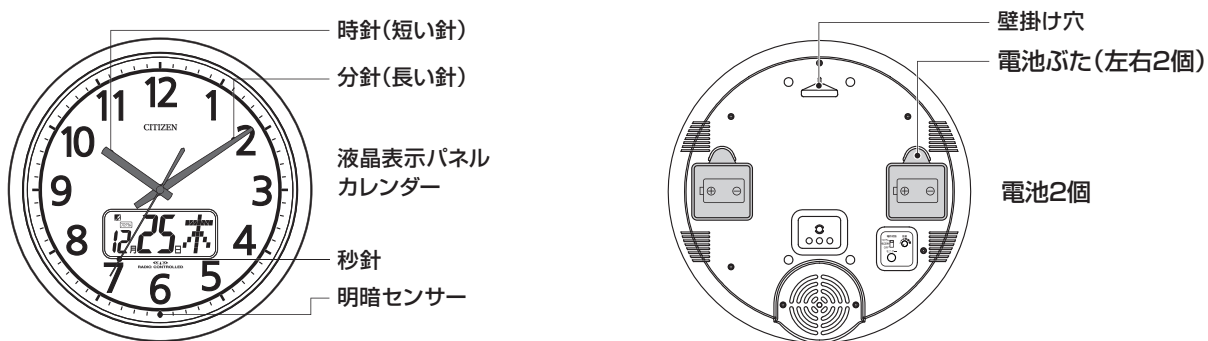
## 4FN403 プログラム報時 24チャンネル デジタルカレンダー、温湿度表示



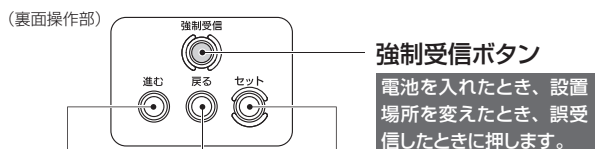
## 4FN404 プログラム報時 36チャンネル デジタルカレンダー、温湿度表示



## 4FN405 プログラム報時 24チャンネル デジタルカレンダー

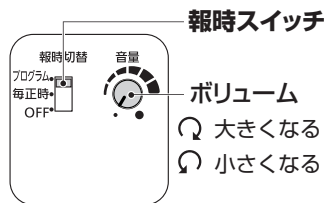


### 共通



進むボタン 戻るボタン セットボタン  
手動で日時を合わせるときやチャンネルに時刻を設定するときに使用します。

### 4FN403



モニターボタンは時計正面6時下  
\*モニターボタンは報時スイッチが OFF のときは機能しません。

### 4FN404 4FN405



モニターボタン

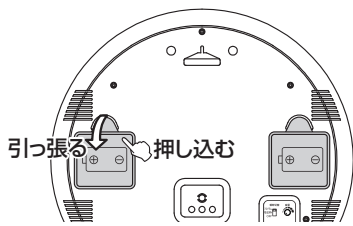
### メモ

- 液晶表示は、見る角度により薄くなったり、ムラになったりします。これは液晶の特性によるものです。
- この時計でのプログラム報時とは、チャンネルに設定された時刻(時、分)にチャイムを鳴らす機能です。
- 1つのチャンネルに1つの時刻が設定できます。24チャンネルの場合は最多で24の時刻を設定できます。

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

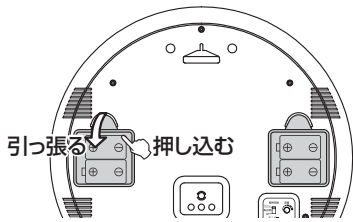
# ご使用方法 電波を受信して日付と時刻を合わせる

## 4FN403、4FN405



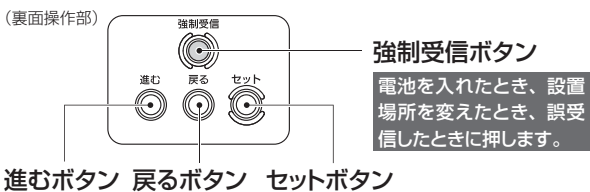
**電池を入れる**  
単2形アルカリ電池を  
2個入れる  
**電池ふた**  
取るとき：引っ張る  
付けるとき：押し込む

## 4FN404



**電池を入れる**  
単2形アルカリ電池を  
4個入れる  
**電池ふた**  
取るとき：引っ張る  
付けるとき：押し込む

## 共通



手動で日付と時刻を合わせる場合は、「**手動での日時合わせ**」(P.7)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。


①電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる  
電池の⊕⊖を逆に入れると、電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。

②強制受信ボタンを押す「標準電波—受信の流れ」参照  
針が早送りで4、8、12時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止します。

※受信が終わるまで、ボタン操作をしないでください。

③「時計の掛けかた」(P.6)に従って確実に掛ける

④16分待つて受信結果を確認する

受信が終わると針が動き出します。受信に成功しているときは、電波マークが点灯します。

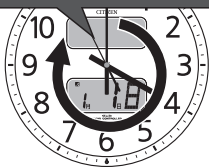
「報時機能を使う」(P.5)に従って、設定してお使いください。

## 静電気の影響について

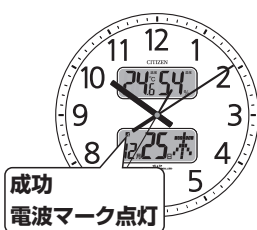
静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

## 標準電波—受信の流れ

強制受信ボタンを押して受信しているとき、暗い所で受信しているときは、温度・湿度を表示しません。



受信終了  
(最長16分後)



(表示例)

強制受信ボタンを押した直後のカレンダー表示部



電波マーク 受信中点滅



① 強制受信ボタンを押す

針は、4時、8時、12時のいずれかに早送りで移動して、受信が終わるまで停止します。

※受信が終わるまで、操作ボタンに触れないでください。

■電波マークの変化について(電波サーチ機能)

短い間隔で点滅してから、1秒点滅に切り替わります。電波マークは、電波の状態に応じて1秒点滅で変化します。受信できません……………▶受信しやすい



①または②の状態が続く場合は、設置場所を変えてください。

② 16分待つて受信結果を確認する

受信は最長で約16分間行い、受信が終わると針が動き始めます。

▶**受信成功** 電波マークが点灯表示になります。電波マークは受信成功後、およそ25時間点灯します。

▶**受信失敗** 電波マークは消灯します。表示されている時刻は正しくありません。「標準電波を受信できない場合」(P.7)へ

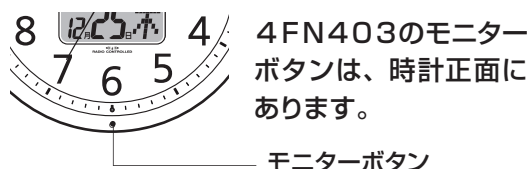
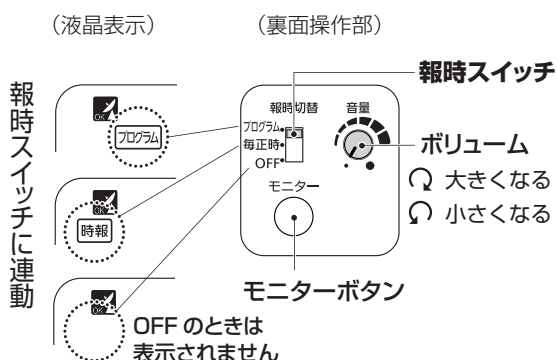
※受信に成功しても日時が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。

※受信マークは、25時間以内の受信結果を表示します。

## 報時機能を使う

報時機能には、2つの種類があります。

- ① 毎正時、たとえば10時00分に「ボーン」と10回鳴る「**毎正時報時**」機能。
- ② 事前に設定した時刻、たとえば12時45分にウェストミンスターチャイムを鳴らせる「**プログラム報時**」機能。



### ◎報時スイッチ 報時機能の選択してください。

- プログラム** 設定時刻にウェストミンスターチャイムを鳴らす。  
事前に鳴らす時刻を設定する必要があります。  
▶「**プログラム報時の設定**」
- 毎正時** 毎正時に、時刻に対応した数だけ「ボーン」と鳴る。  
暗くなると鳴らなくなります。
- OFF** 報時機能を停止します。

### ◎ボリューム 報時音の大きさを調節してください。

### ◎モニター 報時音を試聴するときに押してください。

報時スイッチを「プログラム」または「毎正時」にして、モニターボタンを押してください。

- プログラム**：ウェストミンスターチャイムが鳴り、カレンダー表示部に設定時刻を順に表示。
- 毎正時**：現在時刻に対応した数だけ「ボーン」と鳴る。
- OFF**：鳴りません。

※試聴しているときに、モニターボタンを押すと止まります。

## ■プログラム報時の設定

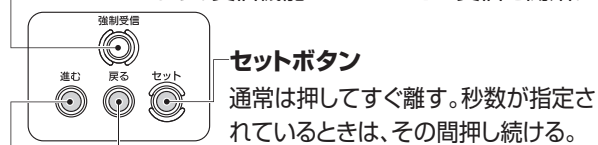
4FN403と4FN405は24チャンネル、4FN404は36チャンネルに設定することができます。

○チャンネルに時刻を設定すると、その時刻にチャイムが鳴ります。..... **A** へ

○設定したチャンネルを解除（鳴らなく）するには、時刻を未設定にします。..... **B** へ

※設定した内容は、電池を取り外しても保持しています。

**強制受信ボタン** 不用意に押すと設定を終了し、針が動き出します。受信機能がONのときは受信を開始。



### 進むボタン 戻るボタン

時刻は、進むまたは戻るボタンで設定します。

押してすぐ離すと1つ変わる

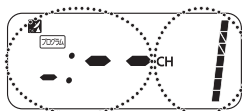
押し続けると早く変わる

※約1分間操作を中断すると設定を終わります。

## プログラムチャンネルの表示例

カレンダー表示部に点滅表示されます。

### 時刻未設定の表示



CHはチャンネルを表しています。  
4FN403,4FN405 CH1～CH24  
4FN404 CH1～CH36

### 時刻設定中または設定済みの表示例



時刻(時：分) 午後の時間帯のみ「午後」を表示

## A チャイムを鳴らす時刻の設定

- ① セットボタンをCH1が表示されるまで約2秒間押す。
- ② セットボタンを押してチャンネルを選択。
- ③ 時刻を進むまたは戻るボタンで設定して、セットボタンを押す。→②へ \*最後のチャンネルのときは、カレンダー表示に戻ります。  
※午後の時間帯にのみ「午後」が表示されます。  
※設定を終わるには、セットボタンを約2秒間押すと、カレンダー表示に戻ります。

## B チャンネルに設定した時刻の解除

- ① セットボタンをCH1が表示されるまで約2秒間押す。
- ② セットボタンを押してチャンネルを選択。
- ③ 進むと戻るボタンを同時に押すと時刻未設定になる  
→②へ \*最後のチャンネルのときは、カレンダー表示に戻ります。  
※設定を終わるには、セットボタンを約2秒間押すと、カレンダー表示に戻ります。

## C 設定内容を確認するには

- ① 報時スイッチを「プログラム」にする。
- ② モニターボタンを押す。  
チャイムが鳴り、CH1から順に表示します。  
表示しているときに、モニターボタンを押すとカレンダー表示に戻ります。

## 液晶表示について

液晶表示は、時計を掛けて少し見上げる位置がクッキリと見やすくなっています。使用している液晶の特性上、他の方向から見ると、表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。

## 明暗センサーのはたらき

明暗センサーにより、暗くなると秒針を12時位置で停止させ、「毎正時」の報時を停止させます。

昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足すると明暗センサーが反応します。

※明るくなると、再び秒針が正しい時刻に早送りで復帰します。

※報時スイッチが「プログラム」のときには、暗くても報時をします。

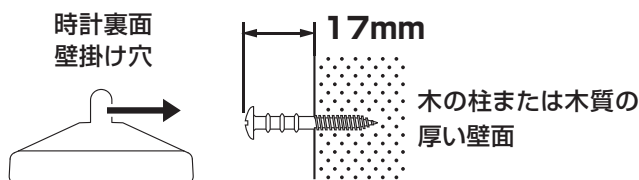
## 時計の掛けかた

**注意** 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、掛け具に壁掛け部がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

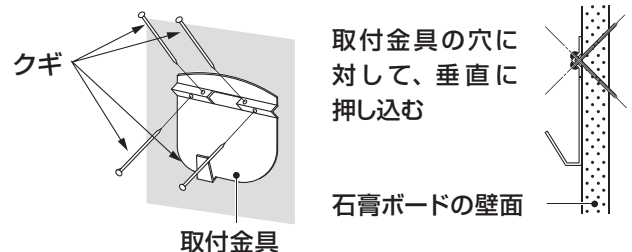
### ■木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



### ■石膏ボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石膏ボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のクギ4本でしっかり固定してください。



### ■その他の壁面の場合

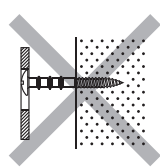
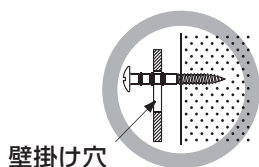
- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

- 壁の材質や取り付け方法を確認してから使用してください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

しっかり掛かっているかよく確認してください。

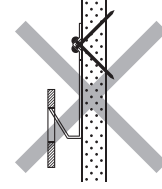
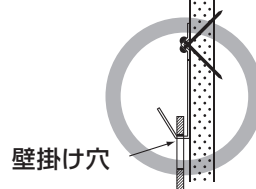
引っかかっている

引っかかっていない



引っかかっている

引っかかっていない



## 標準電波を受信できない場合

### ●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことで受信できる可能性が高くなります。

### ●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所になるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

### ●時刻を合わせ使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で日付と時刻を合わせて使用してください。

電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

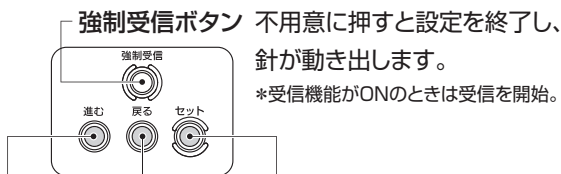
## 手動での日時合わせ 電波が受信できないときや任意の日付・時刻に合わせるとき

(1)戻るまたは進むボタンを西暦年が点滅するまで約3秒間押し続けます。

(2)西暦年、月日、時刻、電波受信ON/OFFの順に設定します。

- 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押しすぎると、数値が1つ変わり、押し続けると連続して変わります。

- セットボタンを押すと、次のステップに移ります。(裏面操作部)



進むボタン 戻るボタン セットボタン

※操作を約1分間中断すると、表示されている内容に設定して、カレンダー表示に戻ります。

※電波受信機能をONにした場合、定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。

※標準電波を受信しない場合の時間精度は、平均月差±20秒のクォーツ精度になります。

※手動では、2012～2099年の範囲で日時を設定できます。

操作例. 2013年12月25日 午前10:37に合わせる

#### ① 設定状態にする



進むまたは戻るボタンを西暦年が点滅するまで、約3秒間押し続ける。

#### ② 西暦年



進むまたは戻るボタンで「2013」に合わせ、セットボタンを押す。

#### ③ 月日



進むまたは戻るボタンで「12月25日」に合わせ、セットボタンを押す。

#### ④ 時刻



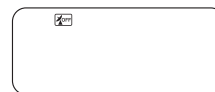
進むまたは戻るボタンで「10:37」に合わせ、セットボタンを押す。

\*午後時間帯のみ「午後」を表示

※進むまたは戻るボタンを押すたびにゼロ秒になります。

※進むまたは戻るボタンを押すと針が停止します。

#### ⑤ 電波受信ON / OFF 選択



進むまたは戻るボタンで、電波受信のON/OFFを選択して、セットボタンを押すと、カレンダー表示に切り替わり、針が早送りで、設定した時刻に移動してから、時を刻みはじめます。



図はOFFを選択したときの表示例です。

## 電波受信機能のON / OFF について

誤受信しやすい所や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

○電波受信機能は、工場出荷するときにON(有効)にしています。

○受信機能ON/OFFの設定は、「手動での日時合わせ」の中で行います。

○電波受信機能をOFFのときに、強制受信ボタンを押すと、一時的に液晶表示が消え、針が早送りしてから時刻を表示します。

○電波受信機能をOFFからONにしたときには、強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。

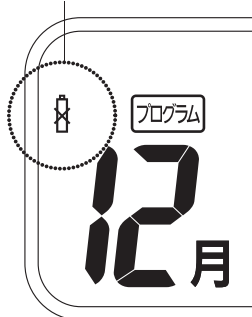


## 電池の交換時期お知らせ機能について

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に停止して、液晶表示部に電池マークが表示されます。このような状態になったときには、速やかに新品の電池にすべて交換してください。

電池を交換した後は、必ず強制受信ボタンを押してください。

### 電池マーク



電池マークが表示されると、次の機能が停止します。

- ①標準電波の受信
- ②毎正時の報時

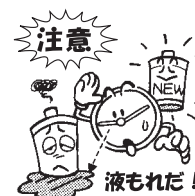
プログラムチャイム機能は停止しません

時針と分針は、約1カ月間動き続けますが、ご使用状態により、動き続ける期間が短くなることがあります。

### **注意** 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても4年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。



### ■ 電池の種類について

- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

### ■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

時計が設置された所の温度と湿度を表示します。

センサーが時計内部にあるため、すぐには周囲の温度・湿度の変化を反映しません。

### ●設置場所について

- 本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
- 屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- 直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。床暖房などしていない一般的な室内では、低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。

※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。

### 温度・湿度の表示について

- 湿度は、相対湿度表示です。
- 測定範囲を超えたときは、「Lo」または「Hi」が表示され、次のことを表しています。

温度 Lo: -9.9℃より低温 Hi: +49.9℃より高温

湿度 Lo: 20%RH 未満 Hi: 90%RH より高い --: 計測できない  
温度が、5℃未満または45℃を越えたときには、湿度の計測ができません。

④厳密な温度・湿度管理、温度・湿度の証明や取引には使用できません。

- 次のようなときは、温度・湿度を表示しません。  
電波受信機能がONのときに強制受信ボタンを押したとき。  
暗い場所で自動受信をしているとき。

### メモ……相対湿度

空気のなかにどれだけ水蒸気（水が気体になったもの）があるかを示すものです。

単位体積当りの空気に取り込める水蒸気の最大量は温度によって変わり、これを飽和水蒸気量といいます。この飽和水蒸気量と実際に空気に含まれている水蒸気量の比を百分率で表したものが相対湿度です。

単位は「%RH」ですが、天気予報などでは、単に「%」で表示されることが多いです。

## おもな製品仕様

	4FN403	4FN404	4FN405
使用温度範囲	-10~50℃ *結露しないこと		
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒 常温中のクォーツ精度		
デジタル表示	LCD (液晶) (注)1		
温度表示範囲	-9.9~+49.9℃	なし	
温度精度	±2℃		
湿度表示範囲	20~90%RH 温度が5~45℃の範囲のとき		
湿度精度	±10%RH		
カレンダー	2012~2099年対応		
使用電池	単2形アルカリ乾電池 2個	単2形アルカリ乾電池 4個	単2形アルカリ乾電池 2個
電池寿命	約2年	約4年	約2年
	標準電波の受信に成功して、秒針が1日当たり8時間停止 プログラム報時を10回/日 音量中位で鳴らした場合		
暗所秒針停止	明暗センサーに連動して12時位置に停止		
電池交換時期お知らせ機能	電池マークが点灯して秒針が12時位置に常時停止		
電波時計機能	標準電波を受信して日時を自動修正		
受信局	福島局/九州局 自動選択		
受信機能	ON/OFF切り替え可能		
自動受信回数	最少 1回/日 最多 6回/日		
自動受信時刻	2、3、4、12、13、14時 各時間帯の16分20秒 *2時16分20秒は必ず行う		
手動時刻合わせ	デジタル設定方式		
毎正時報時	毎正時、時刻に応じた数だけ「ボーン」と鳴る		
暗所鳴り止め機能	あり		
プログラム報時	設定した時刻にウェストミンスターチャイムが鳴る		
プログラムチャンネル	24	36	24
暗所鳴り止め機能	なし		
音量調節	ロータリー式ボリューム		

### (注)1 液晶について

▷0℃以下では表示が薄くなったり、反応が鈍くなったり、消えたりすることがあります。40℃以上では表示が濃くなったり、ムラになったりすることがあります。

▷液晶はおよそ5年を経過すると表示が薄くなる可能性があります。

●製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

### 付属品

単2形アルカリ乾電池 4FN403、4FN405 2個  
4FN404 4個

木ねじ 1個 取付金具 1個 くぎ 4個 保証書 1枚 取扱説明書 本書

# CITIZEN®

## アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

### ●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

### ●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です

## お問い合わせ先

**リズム時計工業株式会社** **お客様相談室** **0120-557-005**

（フリーダイヤル）

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。例 4FN○○○

This product is intended for the Japanese market.  
Service and technical support for this product are available only within Japan.